

平成23年度 学校経営方針

文京区立根津小学校
校長 田中 克昌

1 学校経営の基本理念

凜 と 歩 む、 根 津 小

文の京にあって、114年の歴史と伝統に支えられた根津小の教育の充実及び、教育目標の実現を目指して、自信と誇りをもって、「凜と歩む」ことができる学校づくりを学校経営の基本理念とする。

「凜」とは、「すがすがしさ」「清潔さ」「自己に厳しく人に優しい気持ち」「居ずまいがきちんとしている」「姿勢の良さ」「正義を重んじる誠実な態度」「己に打ち勝とうとする意志」「正直さ、素直さ」「礼儀正しさ」「誇り高き志」と考える。それぞれの職、職務、分掌を通して、「凜と歩む、根津小」とは何かを自らに問い続け、その具現化に向けて全教職員で自ら課題を設定し、その課題解決に向けて具体的な方策を立て努力する。

2 本校の教育目標

人権尊重の精神に徹して、情操豊かで実践力あるたくましい人間の育成を目指し、次の目標を設定し実践する。

- (1) 自ら考え、進んで学ぶ子ども
- (2) ねばり強く、やりぬく子ども
- (3) 心豊かで、思いやりのある子ども
- (4) 元気で、たくましく生きる子ども

本校の教育目標を受け、「凜と歩む、根津小」の具体として、3つの「凜」を育成の重点とする。

① 礼儀正しさの育成

挨拶、言葉遣い、学習ルール等、礼儀正しく生活し学習していく子どもたちを育成する。そのために、根津スタンダードの充実と指導の徹底を図る。

② つよい子の育成

自己を大切にし、他者も大切にできる人権尊重の精神に基づき、自己肯定感、自尊感情を高め、我が儘を言わない、我慢強い、相手を思いやる、つよい心をもった子を育成する。

遊びや体育、全教育活動を通して、体力を向上させ、つよい身体をもった子を育成する。

③ たくさん勉強する子の育成

学校は学ぶところであり、子どもたちの学びを支えるのが教師の務めである。子どもたちに学ぶ喜びを感得させ、学習意欲を高め、自ら進んで学習する子どもたちを育成するため、校内研究を柱とした授業改善に努め、分かる授業、楽しい授業の実現を目指す。

3 目指す学校像

共に育み、共に育つ、開かれた学校

教育目標の実現に向けて、「共に育み、共に育つ、開かれた学校」を目指す学校像とする。「共に育み」とは、子どもたちに関わる全ての人がスクラムを組んで、子どもたちを共に育むということである。ただし、子どもに対する一方向ではなく、双方向の「育む」がなければならない。学校、保護者、地域が子どもを育み、地域が子どもや学校や保護者を育み、子どもが保護者や学校や地域を育むという互惠性を重視する。

「共に育つ」とは、子どもも教師も保護者も地域の大人も、学校に関わる全ての人、子どもたちの教育を通して共に育ち合うということである。子どもだけが育つのではなく、全ての関わる者が育ち合わなければならない。子どもに関わる全ての人、子どもたちによって、子どもたちは健やかな成長をとげていくと考える。

共に育み、共に育つ教育活動が実施されることが、開かれた学校の具体的な姿である。

4 学校経営の基本方針

「凜と歩み、共に育み、共に育つ、開かれた学校」の実現に向けて、以下の3点を学校経営の基本方針とする。

(1) 一人一人を大切にしたい、人権教育の徹底

人権尊重の立場に立ち、自己を大切にしたい、他者も大切にしたい子どもたちを育むため、児童に寄り添う指導を積み重ね、児童の自尊感情・自己肯定感を高める。そのため、教師自らが人権尊重の精神に立脚した、一人一人を大切にしたい教育活動を徹底する。

(2) 体力・学力の向上

児童の学習意欲を高め、知識等の定着を図り、思考力・判断力・表現力を中心とした学力を向上させるために、授業改善に努め授業力を向上させるとともに、児童一人一人に応じた学習支援を実施する。

児童の体力向上をねらいとし、校内研究及び体育科の授業改善を柱とした全教育活動における取組を推進する。(東京都スポーツ教育推進校、根津っ子の学力・体力レベルアッププロジェクト)

(3) 組織的運営に基づいた学校力の向上

自己啓発・相互啓発による人材育成をOJTを柱として実施する。また、一役一人、一人一役を基盤とした組織的な学校運営を実施し、全教職員の資質・能力の向上を図り、学校の問題解決能力である「学校力」の向上を目指す。

5 教育目標・基本方針の具体化

(1) 子どもの実態に応じて目標の数値化を試みる

学校の教育活動は、全て教育目標の達成を目指すものであり、その達成度を示さなければ結果を示したことになる。そのためには誰にも分かりやすく、客観性の高い具体的な子どもの姿や教職員の姿の設定が必要である。そこで、達成させたい具体的な姿を、実態に応じた数値目標で表すことに務め、その達成度を評価し、改善策を立て実施する。

(2) 具体的方策の例

| | |
|---|---|
| <p>一人一人を大切にした、 人権教育の徹底</p> <ul style="list-style-type: none">・あいさつ運動・一人一鉢活動・根津スタンダード・いのちと心の授業・道徳授業地区公開講座・自尊感情を高める取組・規範意識の醸成・根津っ子班活動・スクールカウンセラーや巡回相談員、SSWと連携・特別支援教育の推進 | <p>体力の向上</p> <ul style="list-style-type: none">・根津っ子の学力・体力レベルアッププロジェクト・東京都スポーツ教育推進校・新体力テストの年2回実施・保健指導の充実・食育指導の推進・パワーアップサマーの実施・休み時間における遊びの充実・一校一取組運動 |
| <p>学力の向上</p> <ul style="list-style-type: none">・学力調査（つまずきの見取り）・授業改善プラン（問題解決的な学習形態への授業改善）・チャレンジタイム・根津っ子の学力・体力レベルアッププロジェクト・パワーアップサマーの実施・ICTの活用・朝学習、朝読書・少人数指導の充実 | <p>組織的運営に基づいた学校力の向上</p> <ul style="list-style-type: none">・学校公開・授業参観・学校評価 自己評価、保護者アンケート、学校関係者評価・授業評価・OJT・一人一役、一役一人・報告、連絡、相談の徹底・サービスの厳正 服務事故防止研修等・授業観察、自己申告面接・幼保小中連携 スタートカリキュラム |

6 本校の教職員として

子どもたちに背中を見せられる教師であり、社会人であろう

(1) 健全な精神は、健全な肉体に宿る

心身ともに健康であることが、良い仕事を行う上での大前提となる。健康診断等の受診は必ず行い、メンタルヘルスについても常に心がける。寝られているか、食べられているかが大きな目安となる。

(2) サービスの厳正と、良き社会人として

教育公務員として公教育に携わる者としての自覚を高め、サービスの厳正を期する。服務事故は絶対に起こさないという、自己への厳しさをもち、「是は是、非は非」の気持ちを貫き職場内の緊張感を大切にす。さらに、良き社会人、大人として子どもたちの前に立ち、その見本となれるよう努力しよう。

(3) 学ばざる者、教えるなかれ

学びを教える者は、常に自己研鑽、自己啓発に努め、教師自らが課題解決に向けて取り組む姿を子どもたちに示せるよう努力しよう。

(4) 信頼関係に基づく協働体制を

教職員相互が信頼関係に基づく、相互に重なり合う職務遂行に努めよう。「報告・連絡・相談」の徹底を図り、声をかけ合いコミュニケーションを豊かにし「お互い様」の精神を大切にしよう。

(5) 地域社会の一員として行動しよう

保護者や地域の声に耳を傾け、初期対応を特に誠実に大切に行おう。また、根津の地域の一員としての自覚をもって地域の発展に尽力しよう。